



MESSAGE NOTES

御靈と真理によって礼拝する

詩編 100 篇

ロイド フラハティ

詩篇 100 篇 1~5 節

1 全地よ主に向かって喜びの声をあげよ。2 喜びをもって主に仕えよ。喜び歌いつつ御前に来たれ。3 知れ。主こそ神。主が私たちを造られた。私たちは主のもの主の民その牧場の羊。4 感謝しつつ主の門に贊美しつつその大庭に入れ。主に感謝し御名をほめたたえよ。5 主はいつもしみ深くその恵みはとこしえまでその真実は代々に至る。

ヨハネの福音書 4 章 24 節

神は靈ですから、神を礼拝する人は、御靈と真理によって礼拝しなければなりません。」

1. 私たちの感情が真理に繋がるわけではない

● このことを知ろう (詩篇 100:3 & 5)

詩篇 100:3

- a. 主こそ神 b. 私たちを造られた c. 私たちは主の民 d. 私たちは主の牧場の羊

詩篇 100:5

- e. 主は良い方である f. 揺るぎない愛が永遠に続く

● 知ったらそれに応える

喜び歌う

喜びの歌は目的の無いものではありません。喜びの歌は主に向けられるもの。

2. 主に仕える

詩篇 100:2 喜びをもって礼拝する、仕える

喜びを持って仕えるということは、愛されている者として礼拝し、仕えるのであって、愛されるためにそうするのではありません。

3. 贊美の歌を歌って主の御前に出る

私たちが愛する方、愛するものについて贊美の歌を歌う

まとめ：神様がどんなお方であり、私たちにどんなことをしてくださったかを見る時、私たちは感謝と贊美を捧げます。